

福岡市バレーボール協会

【設立年月日】

1963（昭38）年

【加盟年月日】

1962（昭37）年

【歴代会長】

1965（昭40）年	高橋重威
1967（昭42）年	秋本善次郎
1969（昭44）年	井上理
1978（昭53）年	篠原寛州
1994（平6）年	中川良一
1999（平11）年	吉浦公生
2011（平23）年	樋口明

【歴代理事長】

1965（昭40）年	篠原寛州
	古川禎三
1967（昭42）年	古川禎三
1999（平11）年	吉原亮司
2001（平13）年	山本一行
2005（平17）年	杉山博明
2011（平23）年	原田清子

【沿革】

1962（昭37）年、福岡県バレーボール協会として福岡市体育協会に加盟後、1963（昭38）年に有志により福岡市バレーボール協会が設立され、現在に至っております。

設立当初はコートも完備されておらず、会場の立地の悪さに加え、備品も用具も苦慮しながらの時期を当時の役員 노력により、競技人口の拡大普及を図るとともに組織の拡充がなされ、今日に結びついております。

傘下組織にあった福岡市家庭婦人バレーボール連盟が独立してからは、現在、市小学生バレーボール連盟、市ソフトバレーボール連盟とのかかわりが大きく支援体制に協力しております。

バレーボール人口の減少による問題がある中で女子のバレーボール愛好者が大勢いるのに試合の場所がないことの陳情から、レク&スポーツと言う誰



でもが楽しめる生涯スポーツとしての取り組みを2004年に立ち上げてからは年齢に関係なく親子や、初心者でも参加できることで拡充されたことにより、まだバレーボールに希望があり、普及の一環として社会生活にも幅広く活動できることを実感しております。

また、中学生の市民総合大会や、高校生による韓国との交流等、青少年育成にも努めております。青少年活動の手助け的なことに関わるのが、特に高校生に多く、国際交流が活発になった近年は、釜山市以外からの要請も多く、晋州やその近辺からの交流を求められています。そんな時協力してくれる高校が多いのは喜ばしいことですが、何よりも経済的なことが大変です。

成人女子が実施している釜山との国際交流は例年往來を重ね、途切れることなく友好親善の輪が広がっております。個人的にクラブ単位で協定を結んだ所もありますが、あくまでも福岡市バレーボール協会を通じて成立されているようです。

2年前からは済州島での中国を含んだ3カ国による国際交流にも参加しており、これには高年齢層の男子・女子のチームが遺憾なく力を発揮しており、韓国の観光資源に一石投じているようです。福岡市ももう少しスポーツを通じての交流に理解を示してくれたらもっと、全ての事業が拡大されるだろうと案じたりもします。

今後はアジアに広がるスポーツ交流都市福岡に恥じないようなお一層努力し、発展に尽力するつもりです。

県民大会でも部門によっては好成績を残しており全国大会への出場権を得るチームがあったり、福岡市を代表しての誇りを意気揚々感じたとの思いも聞

いたりして、今後、益々チームによる競争意識は高まることでしょう。

小学生の大会を年に2回開催して、小学生連盟との繋がりを持つ中で、強化選手育成の芽を花咲かせる手助けになればと福岡市バレーボール協会主催の大会として取り組んでおります。

ジュニアクラブの指導者はそれぞれが育成の段階をチームカラーづくりから始めますが、父兄の協力無しでは育たないのが実情であり、摩擦があったりチームの増員がなかったりと、問題を抱えながらも必死に頑張っております。

ジュニアの間にバレーボールが楽しく強い精神を作るスポーツであることを理解して欲しいと願っております。そうすればずっと続くからです。

また、福岡市ソフトバレーボール連盟が傘下団体としてありますが、いまや市内全区に広がる愛好者の増加に驚くほどのパワーをみせつけられます。

70歳以上の高齢者がコートの中で楽しそうに励みあってボールを追いかけているのを観ると、日本は平和だなと感じます。

その反面20歳以上の若者が生涯スポーツとしての原則を忘れ、チャンピオンスポーツとして取り組むことに反論もあるようですが、参加者も多くスポーツの発展、普及には多大な力にもなっており、現状維持のまま進行しております。

来年度は全国大会の計画もあり、高齢者が支える福岡市をアピールしていかなくてはと考えております。

福岡市バレーボール協会が障害者大会や、他団体が開催する大会等の審判員派遣などに大きく関わり、傘下団体との連携は年間を通して密に繋がっております。

競技スポーツとして取り組めば、生涯現役を目指す参加者には体力の持続維持を考えた場合難関であろうとの予想もありますが、高齢者でも出来るバレーボールを目的に、50歳以上を対象にした混合8人制バレーボール競技の企画も進んでいるところで、すでにモデル大会が開催されており数年後には福岡市にも入り込んでくる可能性もあります。

時代の流れとともに若い役員に交代の時期でもありますが、円滑に協力しあい一丸となり一生懸命皆で頑張ります。

将来の協会の姿を描くとき、古い考えに囚われず斬新な企画やアイデアを取り込み、市内に限らず近郊をも呼び込んでの大会や、福岡市独自の運営方法を考えていくことも重要視して、これから先の存続に関する経営の問題も打破して行き、益々強固なパワーのある組織づくりに努力します。



【現在の活動】

1. 福岡市バレーボール協会主催大会
 - ※ 一般男子・女子大会年間12回程度
2. 日韓国際交流大会
 - ※ 釜山広域市・福岡市成人女子親善交流バレーボール大会
 - ※ 日・中・韓 済州島全国親善バレーボール大会
 - ※ ジンソンクラブ親善交流バレーボール大会
 - ※ 高校生親善大会（晋州・釜山他）
 - ※ その他韓国全羅北道等の交流等。
3. ジュニア大会・中学生市民総合大会
 - ※ 福岡ロータリーカップジュニアバレーボール大会
 - ※ 鶴陽杯ジュニアバレーボール大会
4. 福岡市ソフトバレーボール大会（後援事業）

■本協会主催の大会・教室

- ・ 指導者審判員養成講習会
- ・ 福岡市バレーボール協会主催大会
- ・ レク&スポーツバレーボール大会
- ・ 県民体育大会予選大会